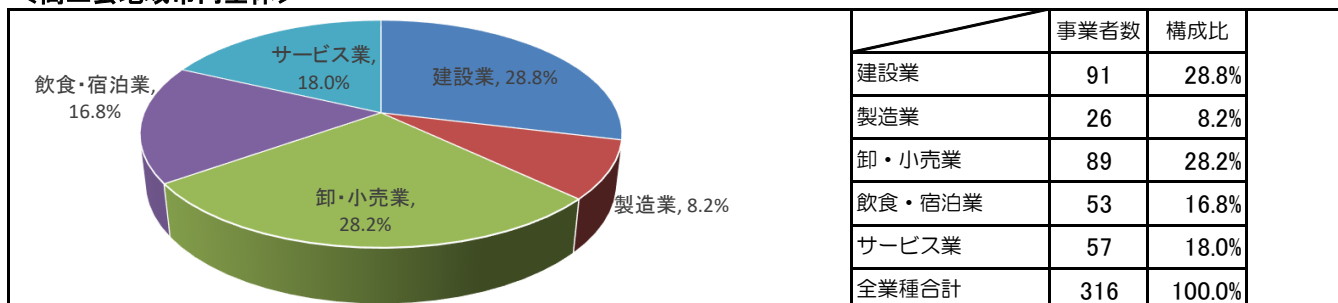


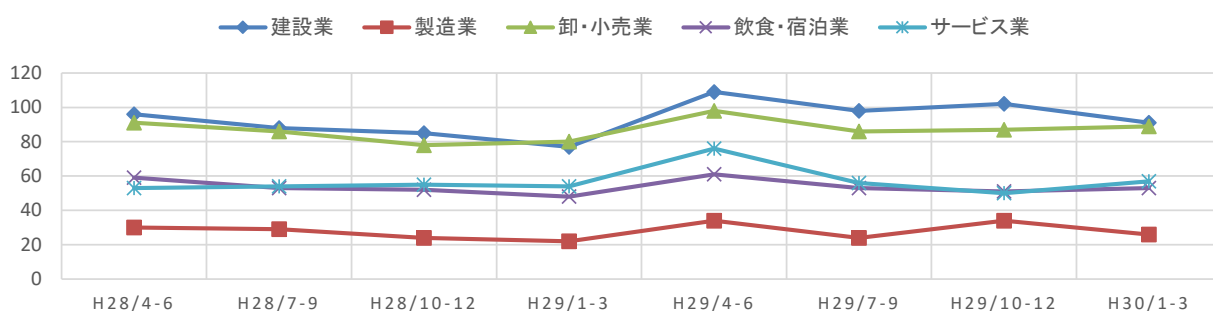
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



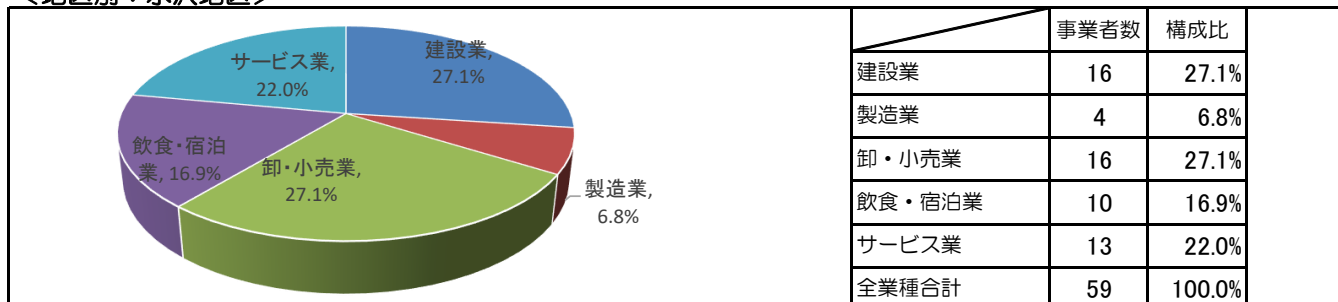
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



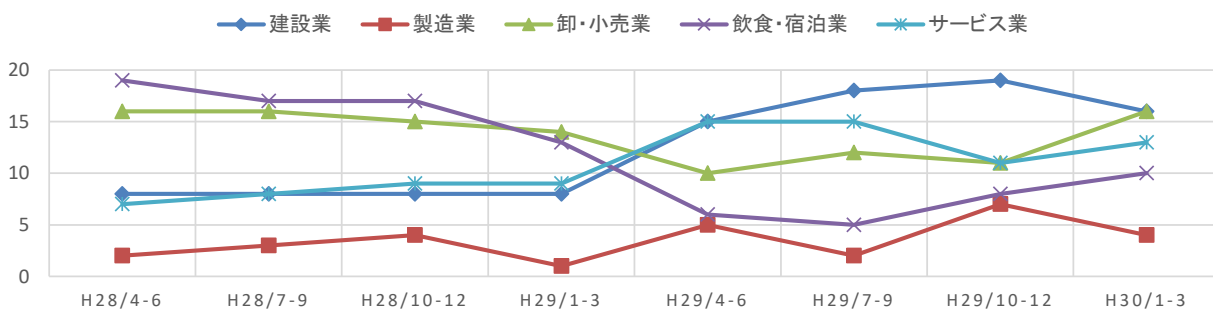
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約29.9%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：水沢地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

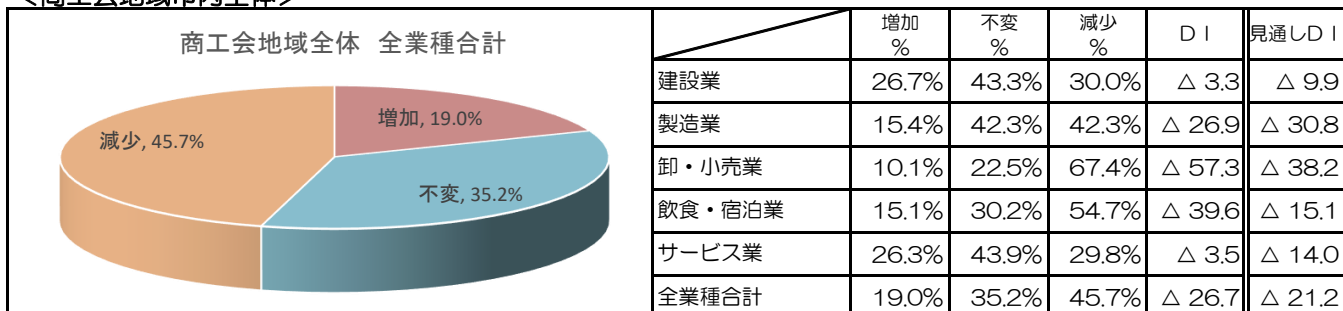
当地区会員157事業所に調査票を配布し、59事業所から回答を得た。（回答率37.5%）構成比率は建設業27.1%、製造業6.8%、卸・小売業27.1%、飲食・宿泊業16.8%、サービス業は22%であり、前回調査と比較すると製造業の割合が減少し、卸・小売業の割合が増加した調査結果であった。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

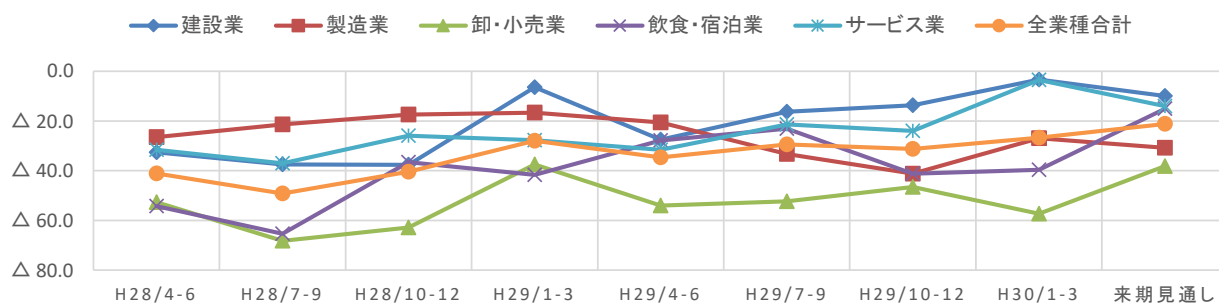
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



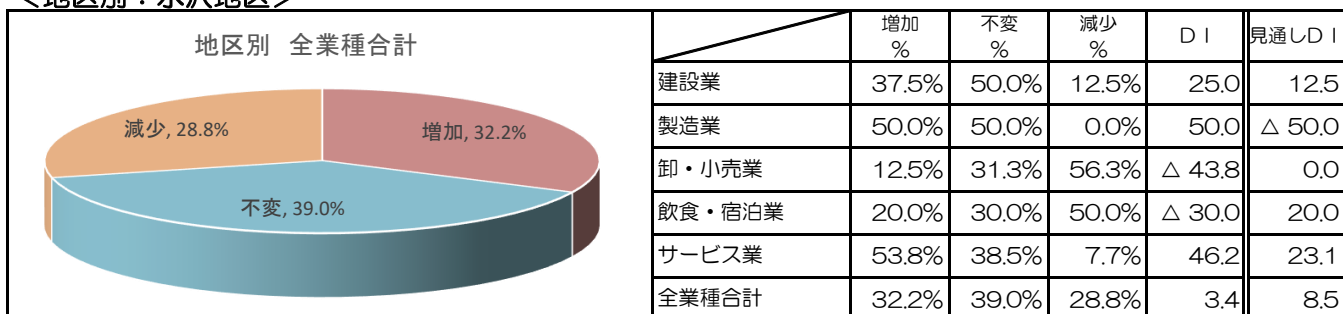
業種別売上の推移（市内全体）



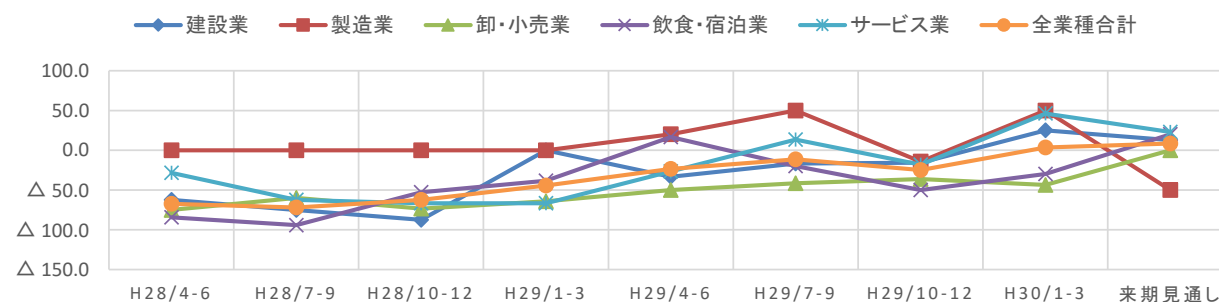
<コメント>

売上DIは、前年同期と比較して全業種で26.7ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しDIは、全体的に回復傾向にあるものの建設業・製造業・サービス業においては、悪化傾向を予想している。

<地区別：水沢地区>



業種別売上の推移（地区別）



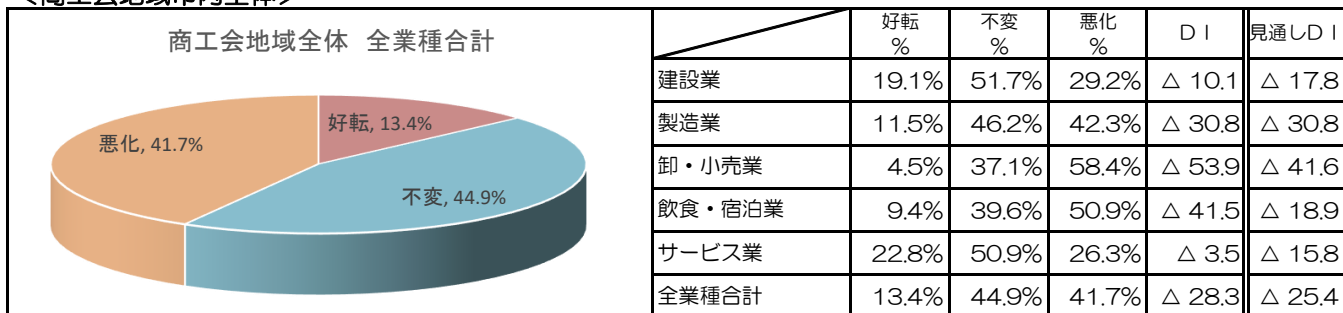
<コメント>

当地区の売上DIは、前年同期と比較して、全業種合計で3.4ポイント増加で若干の回復傾向にある。業種別に見ると、卸・小売業は△43.8ポイント、飲食・宿泊業が△30ポイントの減少であり厳しい経営状況である。他業種では増加しており、売上について回復の兆しが見られる。来期の見通しDIは、全業種合計で8.5ポイント増加となっており、製造業では△50ポイント減少の見通しであるが、他業種については増加及び現状維持の見通しであり、売上増加を期待する予想である。

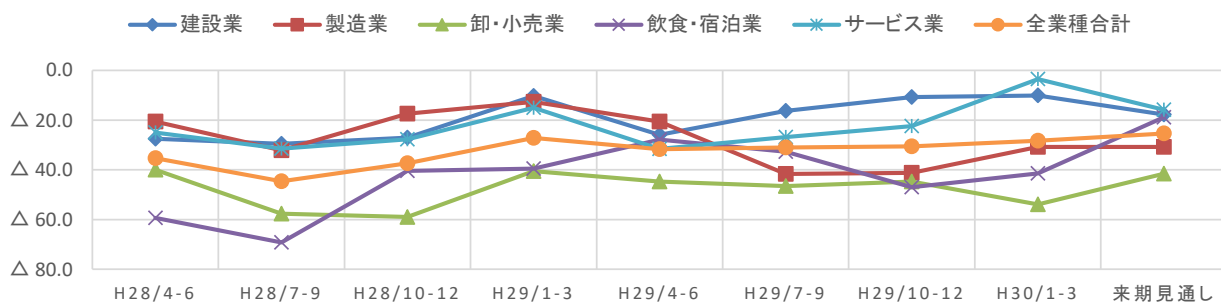
2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



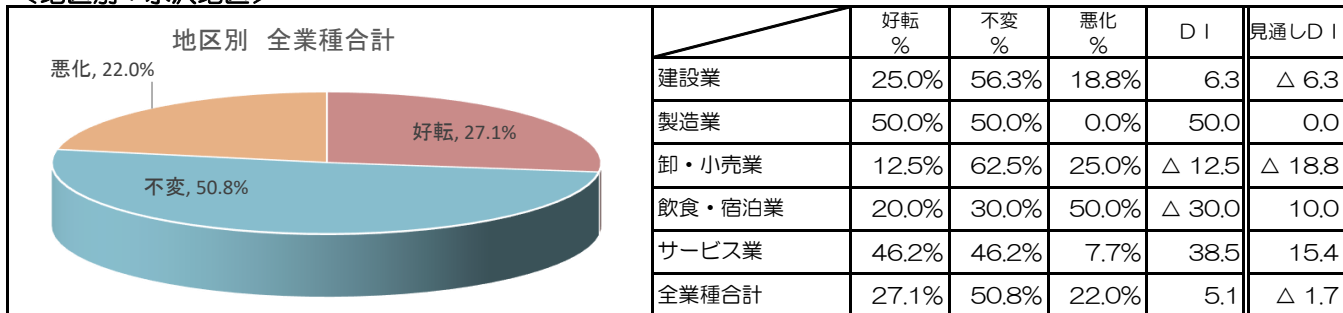
業種別採算の推移(市内全体)



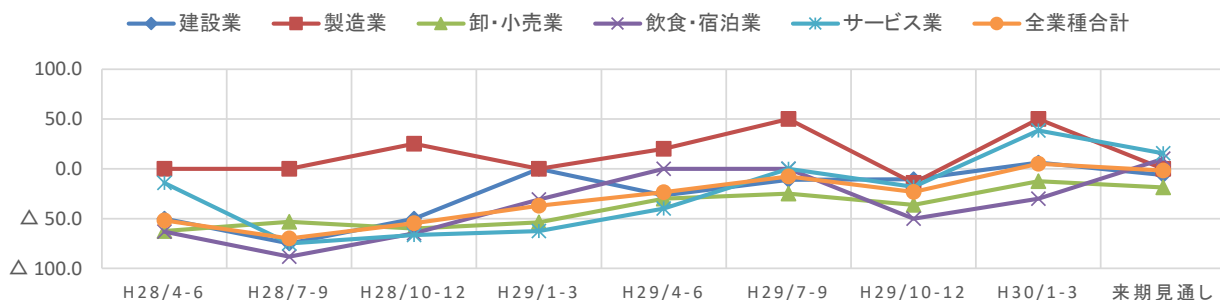
<コメント>

採算DIは、前年同期と比較して、全業種で28.3ポイント悪化。卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しDIは、売上DIと比例している。

<地区別：水沢地区>



業種別採算の推移(地区別)



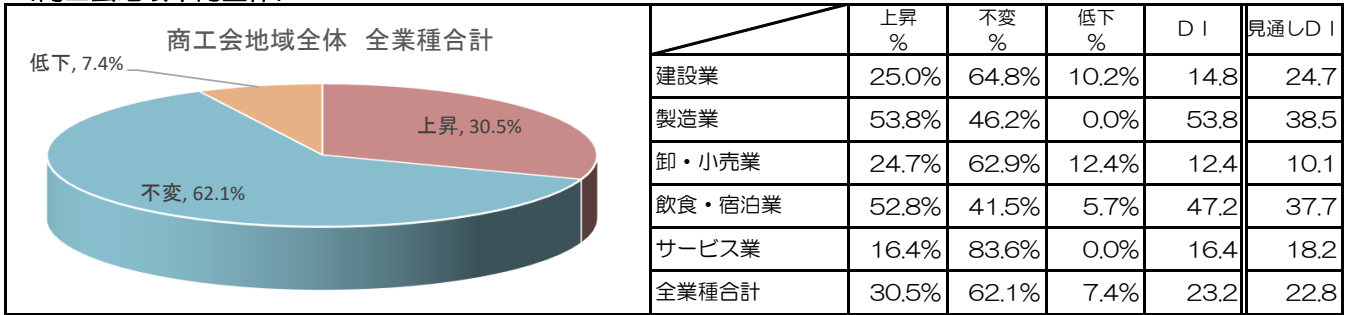
<コメント>

当地区の採算DIは、前年同期と比較して、全業種合計で5.1ポイントの好転しており、売上同様に若干の回復傾向にある。業種別に見ると卸・小売業が△12.5ポイント、飲食・宿泊業が△30ポイント減少と売上同様に厳しい経営状況で利益の確保に苦慮している。他業種では好転に転じており、製造業が50ポイントと最も高い数値となった。来期見通しDIでは、全業種合計で△1.7ポイントの悪化を予想しているが、飲食・宿泊業は10ポイント、サービス業は15.4ポイントと好転予想をしており採算の確保に期待が持てる見通しとなった。

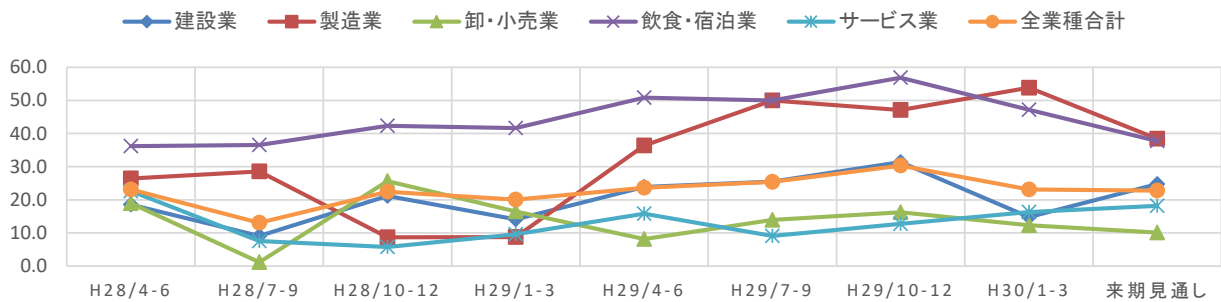
3. 仕入単価について

- ・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



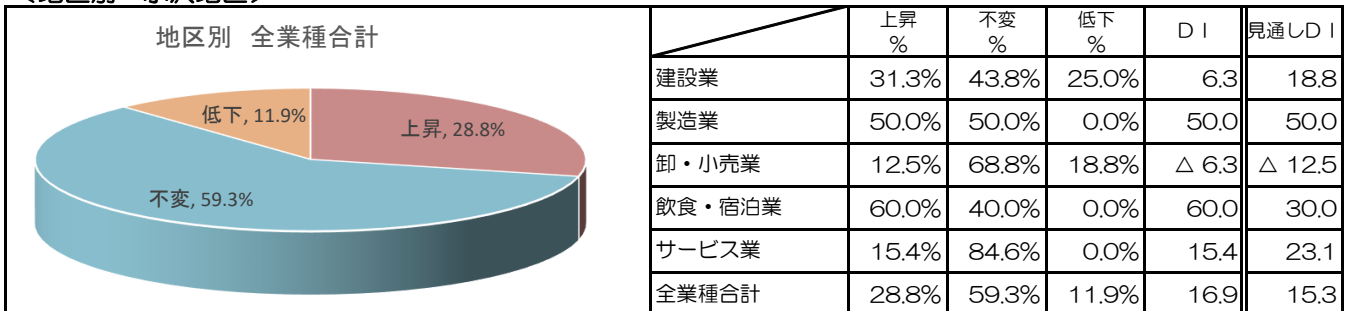
業種別仕入単価の推移(市内全体)



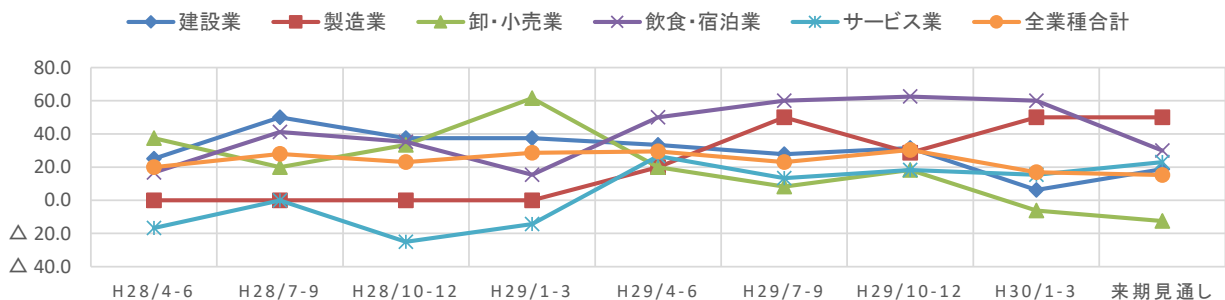
<コメント>

仕入単価DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが23.2ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げていると思われる。来期見通しDIでは、建設業は上昇予想であるが、その他業種では落ち着いていくと予想している。

<地区別：水沢地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



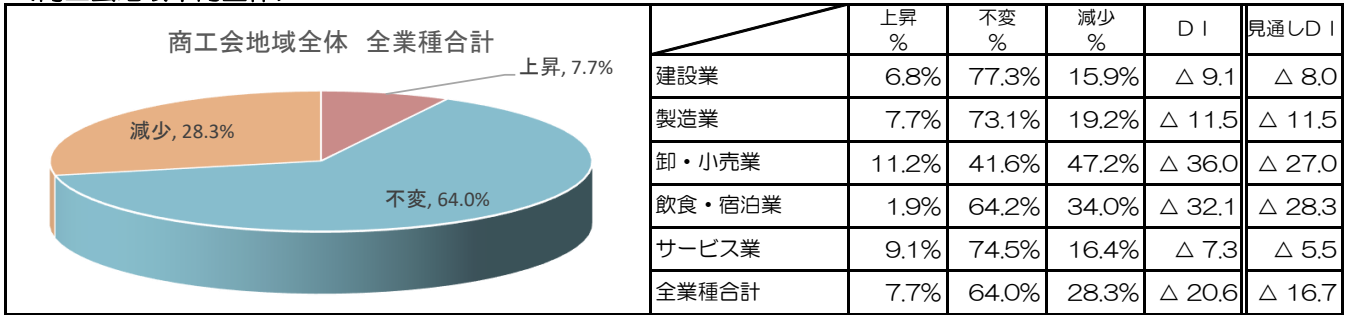
<コメント>

当地区の仕入単価DIは、前年同期と比較して、全業種合計で16.9ポイント上昇。飲食・宿泊業では60ポイント、製造業では50ポイント上昇と目立ち、売上原価を押し上げている。来期の見通しDIは、全業種合計で15.3ポイントの上昇予想である。業種別に見ると、特に製造業が50ポイントの上昇予想と高い数値を示している。

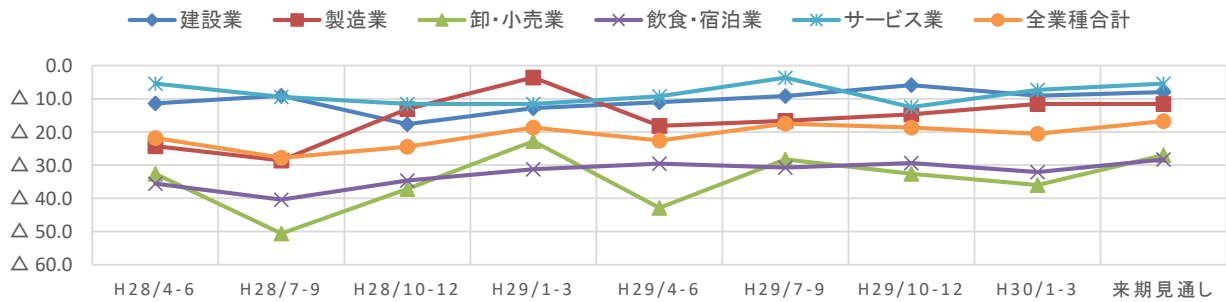
4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



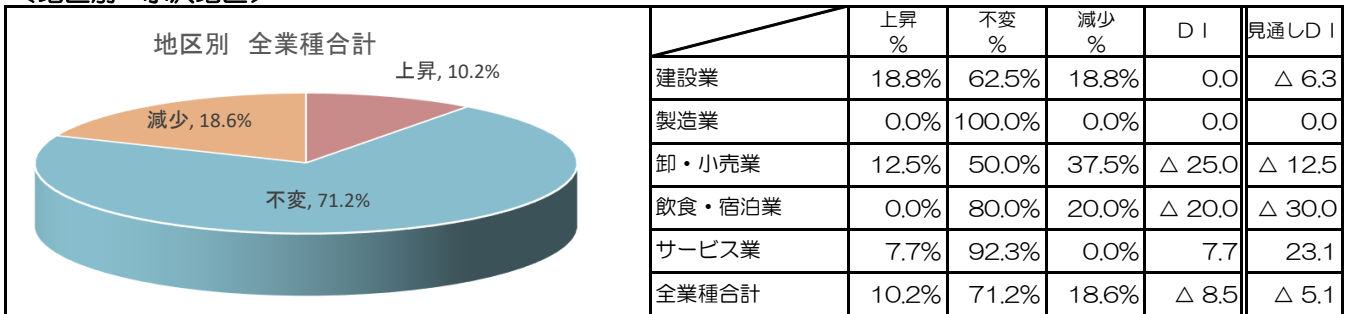
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



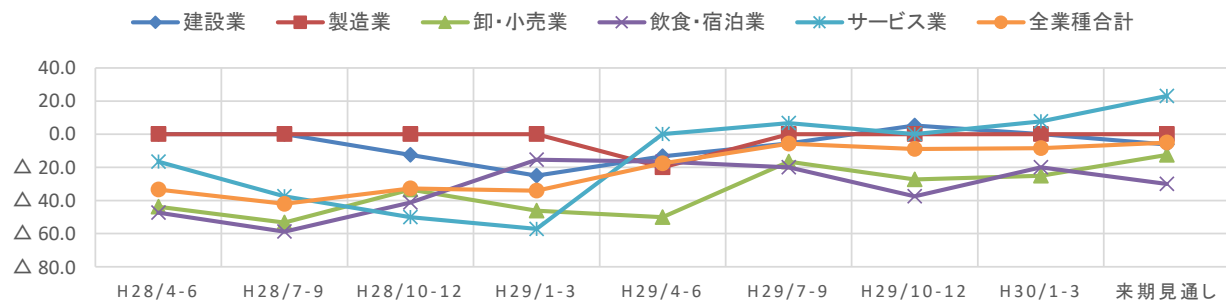
<コメント>

販売単価D Iは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが20.6ポイント低下。卸・小売業及び飲食・宿泊業の低下が目立つ。来期見通しD Iでは、全業種で若干回復を予想している。

<地区別：水沢地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



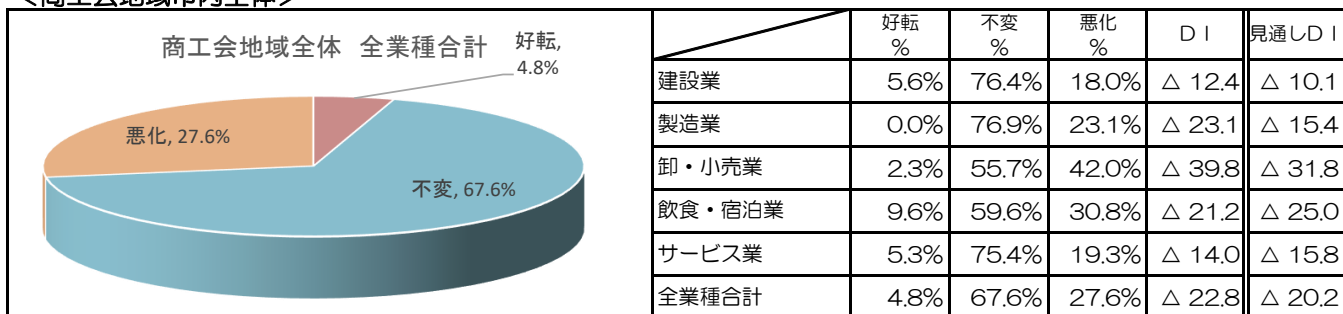
<コメント>

当地区の販売単価D Iは、前年同期と比べて全業種合計で△8.5ポイントの減少であった。業種別に見ると、卸・小売業が△25ポイント、飲食・宿泊業が△20ポイントの減少と販売単価が低迷している。来期の見通しD Iは、全業種合計で△5.1ポイント減少。業種別に見るとサービス業は23.1ポイントの上昇予想をしているが、他業種では消費者マインドの低迷も有り、改善傾向が見られない減少予想となった。

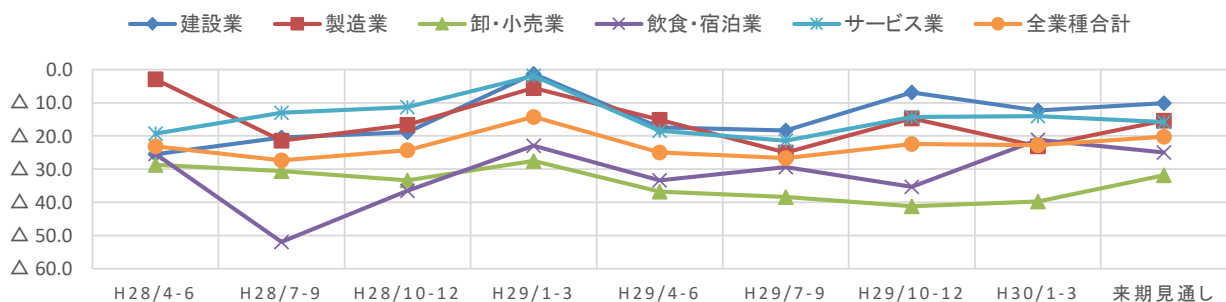
5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



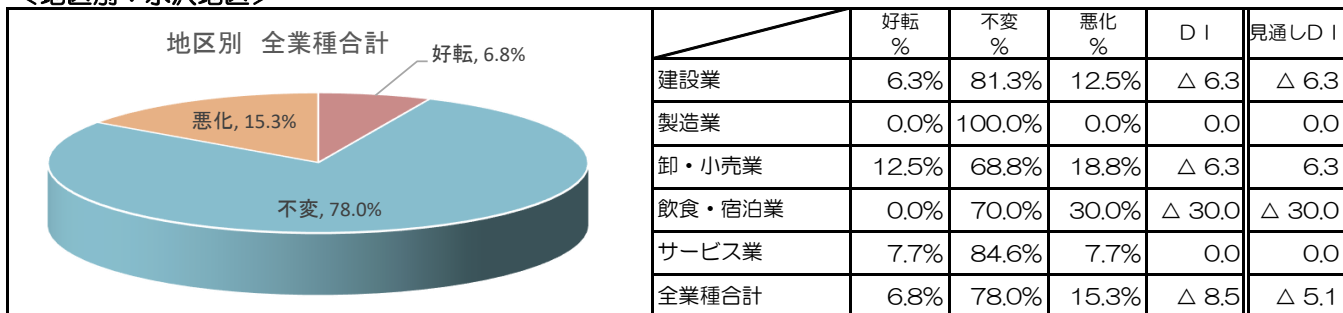
業種別資金繰りの推移(市内全体)



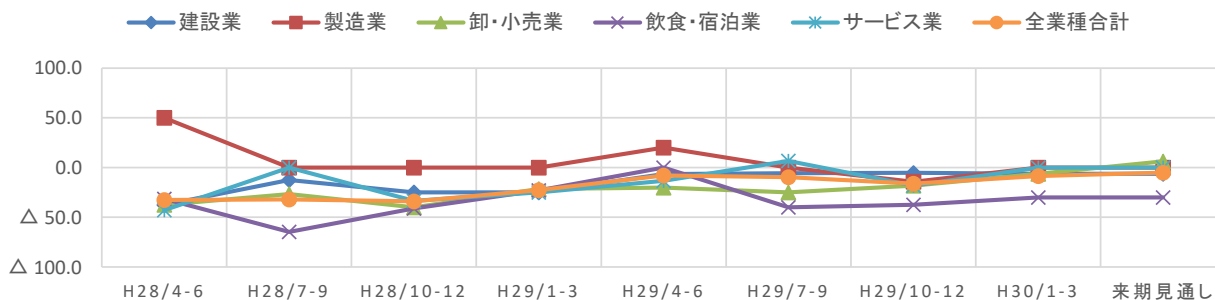
<コメント>

資金繰りDIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが22.8ポイント悪化。依然として、卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しDIでは、全業種では若干改善を予想しているが、飲食・宿泊業並びにサービス業は悪化を予想している。

<地区別：水沢地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



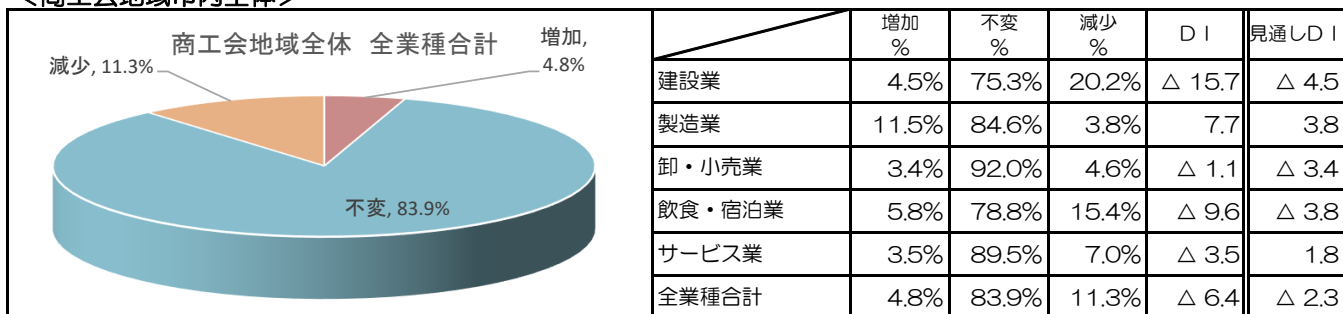
<コメント>

当地区の資金繰りDIは、前年同期と比較して、全業種合計で△8.5ポイント悪化。業種別に見ると飲食・宿泊業が△30ポイント悪化と他業種に比べて悪化が目立つ結果となった。今後の見通しDIでは全業種合計で△5.1ポイントの悪化予想である。飲食・宿泊業では△30ポイント悪化と好転の兆しが見られない厳しい予想である。運転資金等の資金繰りの相談等について、マル経融資斡旋等による金融支援に努めていきたい。

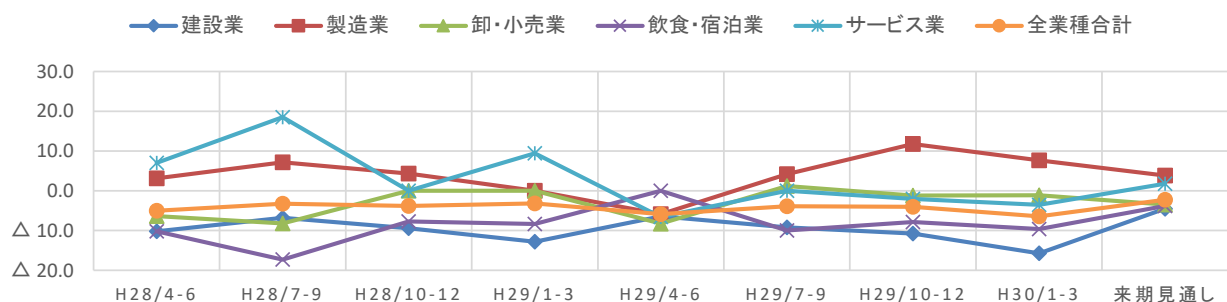
6. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



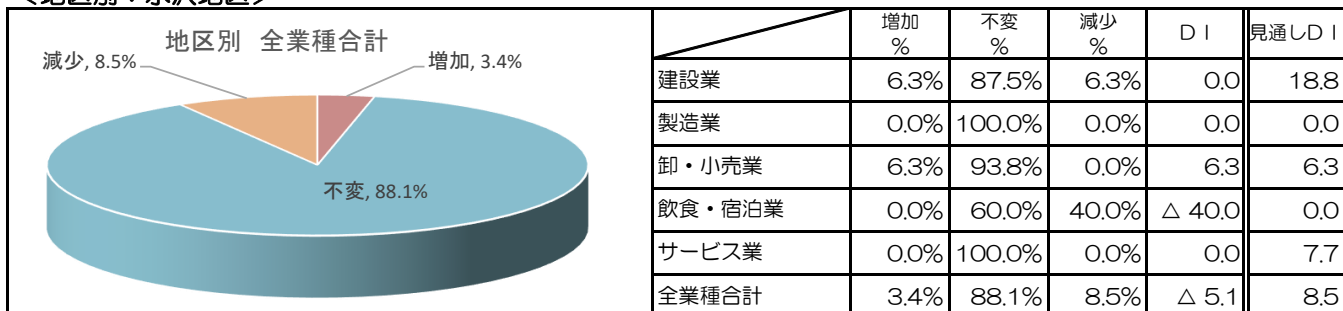
業種別従業員数の推移(市内全体)



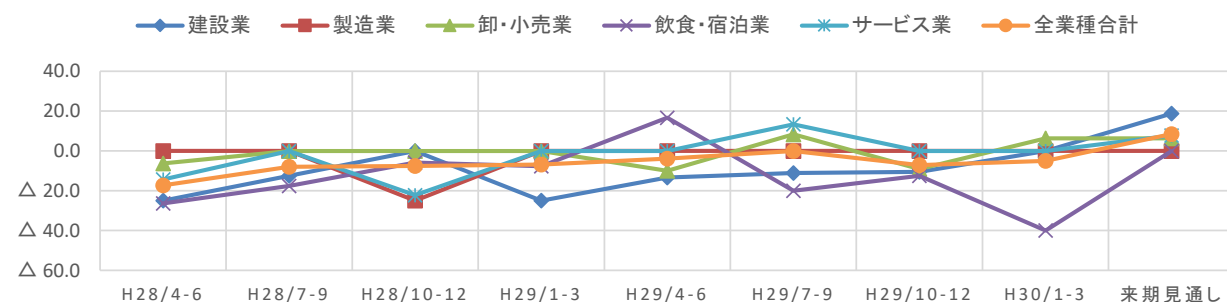
<コメント>

従業員数DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、6. 4ポイント減少。但し、製造業は7. 7ポイント増加した。来期見通しDIでは、製造業及び卸・小売業以外は増加を予想している。

<地区別：水沢地区>



業種別従業員数の推移(地区別)



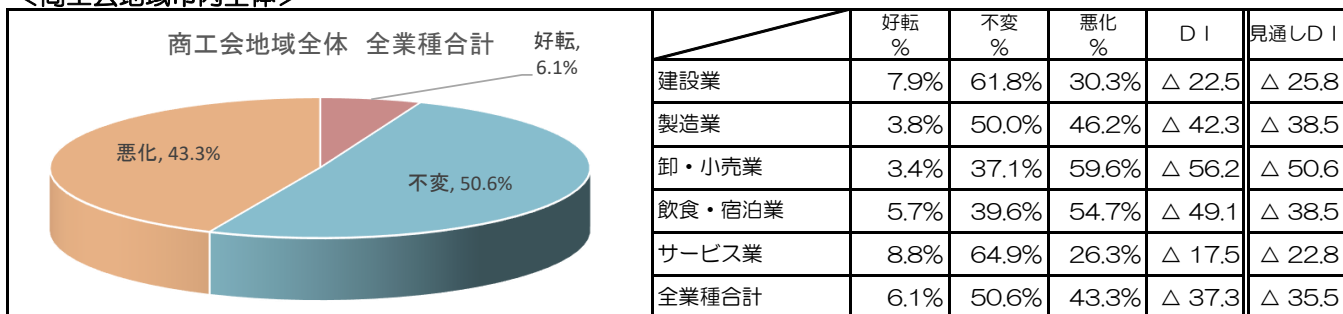
<コメント>

当地区の従業員数DIは、前年同期比で全業種合計で△5.1ポイントの減少であるが、飲食・宿泊業で△40ポイントと減少しているが、他業種では不変基調である。来期の見通しDIでは、全業種合計で8.5ポイント増加と雇用増加が見込まれている。

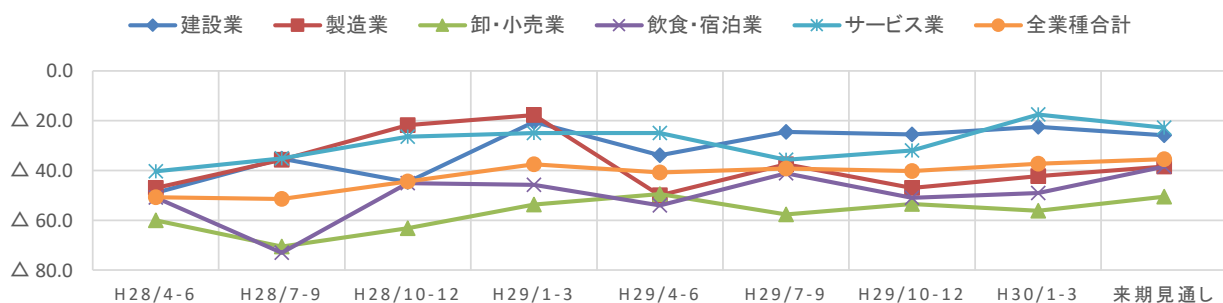
7. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



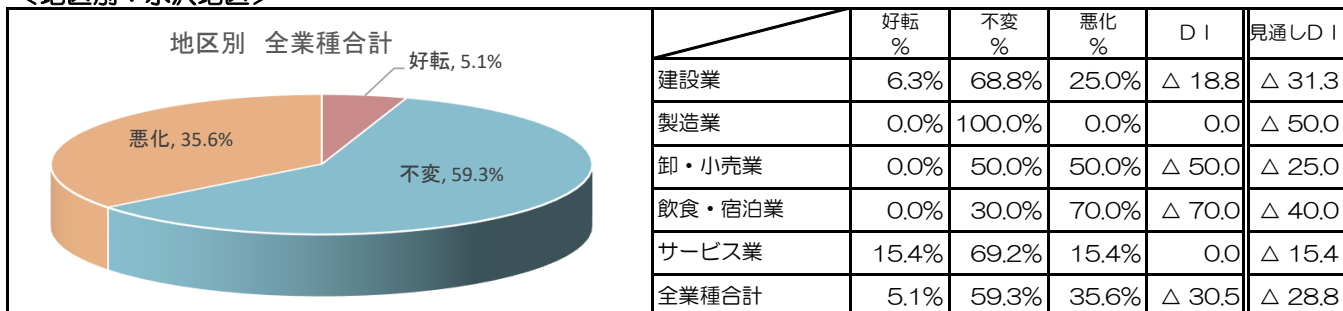
業種別景況判断の推移(市内全体)



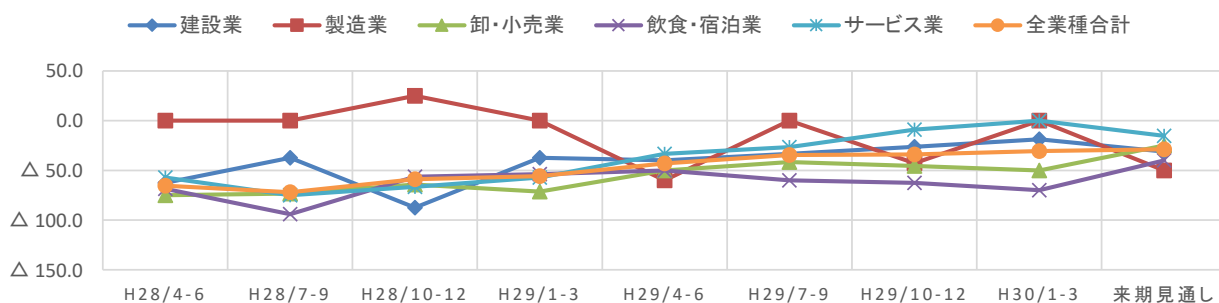
<コメント>

景況DIは、前年同期と比較して、全業種で37.3ポイント悪化。特に、卸・小売業及び飲食・宿泊業は半数以上が悪化と回答。製造業も悪化傾向である。来期見通しDIは、全業種で35.5ポイント悪化予想であり、厳しい見方をしている。

<地区別：水沢地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

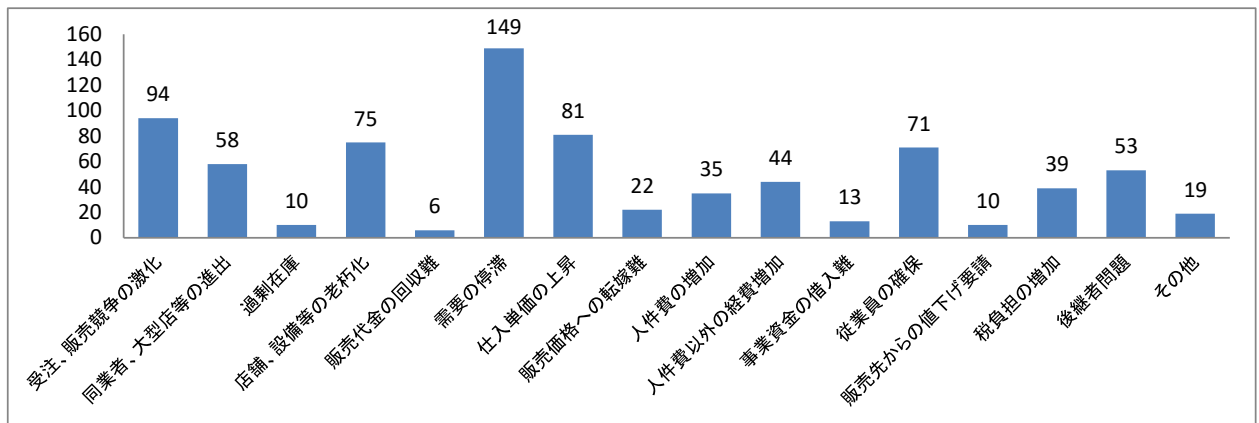


<コメント>

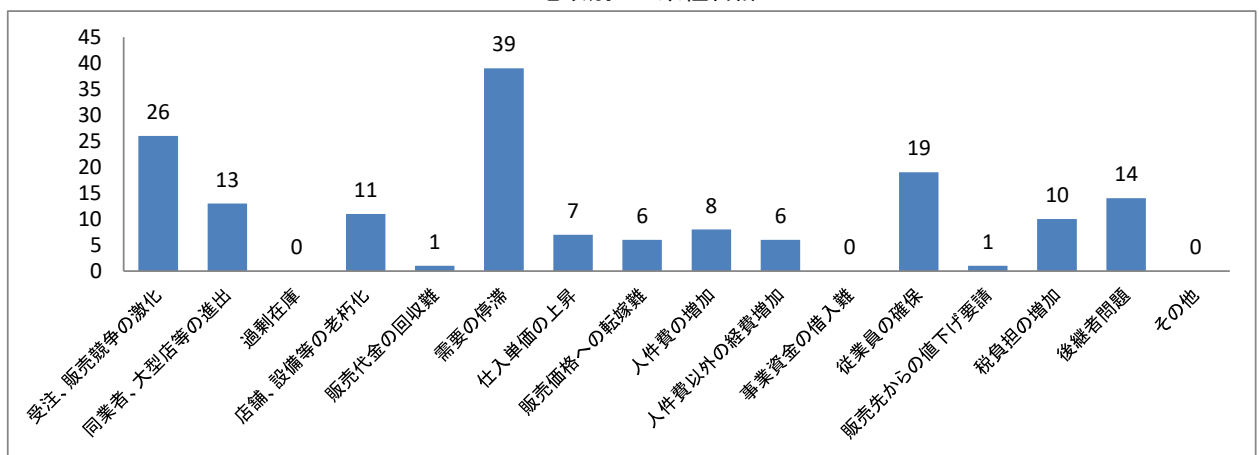
当地区の景況判断DIは、前年同期と比較して、全業種合計で△30.5ポイント悪化となった。特に飲食・宿泊業、製造業、卸・小売業は半数以上が悪化と回答しており、厳しい景況判断となった。来期見通しDIは、全業種合計で△28.8ポイントの悪化予想であり、市内全域同様に非常に厳しい見方をしている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<全域コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」であった。

<当地区コメント>

当地区の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「従業員の確保」であった。4位には「後継者問題」となっており、「従業員の確保」「後継者問題」と人材不足が経営上の問題点として大きなウエイトを占めている。

9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

【建設業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」が25ポイント、「採算」が6.3ポイントと増加し若干の回復傾向が見られる結果となった。「仕入単価」は6.3ポイント上昇しており売上原価が上昇している。「受注単価」は0ポイントと不変と回答した事業所が最も多く不変基調であった。「資金繰り」「従業員数」についても不変基調であるが、「景況判断」は△18.8ポイントと悪化しており好転の兆しが見られない。来期の見通しでは「売上」「従業員数」共に増加の見通しであり、受注増加の期待ができる。経営上の問題点は1位が同数で「需要の停滞」「従業員の確保」、3位が「後継者問題」となっている。

【製造業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」ともに50ポイントの増加・好転となり好調であるが、「仕入単価」は50ポイント上昇となり、売上原価は増加している。「販売単価」「資金繰り」「従業員数」「景況判断」については不変であった。来期の見通しでは「売上」が50ポイントの減少予想をしており厳しい見通しである。仕入単価も今期同様に50ポイントの増加を予想しており、売上原価の増加傾向が続く見通しである。「採算」「受注単価」「資金繰り」は不変の見通しであるが、「景況判断」は約△50ポイントの悪化予想であり、非常に厳しい経営状況の見通しである。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位は同数で「仕入単価の上昇」「受注・販売競争の激化」「税負担の増加」「店舗、設備等の老朽化」となっている。

【卸・小売業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」△43.8ポイント「採算」△12.5ポイントの減少・悪化となり、厳しい経営状況が続いている。「仕入単価」については△6.3ポイント低下しているが、「販売単価」は△25ポイント減少しているため利益の確保に苦慮している。「資金繰り」「従業員数」については不変基調であるが、「景況判断」は△50ポイントと悪化している。来期の見通しでは「売上」は不変予想だが、他項目は今期と同じ傾向が続くと予想しており、改善の傾向が見られない。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位が「同業者、大型店の進出」となっている。

【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」共に△30ポイント減少・悪化しており、消費者マインドの低下による需要の停滞の影響が大きい。「仕入単価」も60ポイント上昇し、「販売単価」は△20ポイントの減少が見られ、大変厳しい経営状況である。「資金繰り」についても△30ポイント悪化と資金繰りについて苦慮している。来期の見通しでは「売上」「採算」が改善傾向を示しており明るい兆しが見られる。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」となっている。

【サービス業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」46.2ポイント「採算」38.5ポイントの増加・好転しており好調であった。「仕入単価」が15.4ポイント上昇しているため、「販売単価」は7.7ポイント増加であるが、売上原価増加のため利益が減少している状況であると思われる。来期の見通しでは、「売上」「採算」共に増加・好転の見通しで、期待の持てる予想となった。経営上の問題点は1位「従業員の確保」2位「需要の停滞」3位「受注、販売競争の激化」となっている。